

新発田市租税教育推進協議会長賞

安心安全に暮らせるように

新発田市立 豊浦中学校 三年 田 中 優 芽 さん

私は、最初「税」というものに無関心でした。ですが、今はもっと知りたい、もっと考えたいなど「税」に対しての疑問やしくみなどをもっと知りたいと思えるようになりました。そのきっかけは、学校で講師の方をお招きして、租税教室を受けたことです。

租税教室の開始前、私は「税」という言葉に無関心でしくみなどは大人になってから知ればいいという気持ちでいました。ですが、一億円のレプリカやDVDの鑑賞、講師の方からのお話を聞き、特に興味深くなった所があります。

まず一つ目は、「税」といっても何十種類も種類があるということです。講師の方のお話によると四十五種類以上の税があるそうです。消費税や所得税はもちろん、自動車税や地方消費税、また、入湯税といって温泉に入ったときに支払う税があります。そして、私たちが住んでいるこの新潟は冬になると除雪が欠かせません。この除雪に使われるお金も税金で補っています。また、日本は今、少子高齢社会が進んでいます。高齢者が安心して暮らすための介護施設や老人ホームなどにも税金が使われています。この話を聞いて、私たちが暮らすためには税は欠かせない存在なんだと改めて感じました。また、私たちが学校に行けていることも、体育館で遊ぶことができるのも、教科書をもらえることも本当に幸せなことなのだと思います。

二つ目は、今後、私たちの世代が大人になるときの税の状況についてです。先ほども言ったとおり、日本では少子高齢化が進んでおり、出生率は下がり、平均寿命は四十年の間に十才も延びています。年金をもらっている六十五才以上の人々の年金は国民の税金によって、成り立っています。しかし、今は少子高齢化の社会です。今後、さらに高齢者が増えていき、子どもの数は減っていきます。そうすると、一人ひとりが負担する税金がだんだんと重くなっていきます。そのため、消費税がどんどん上がっていています。まだ、消費税などしか払えない年ですが、この「税」について詳しく知るともっと知りたいと思いました。

このように、税金には何十種類もあり、そのどれもが私たちの生活を豊かに、安心安全に暮らせるように「税」あるのだと思いました。少しでも、社会の状況を知っていきたいなと思いました。